CREAS

クレアス

ローマンシェード
ダブルタイプ
（プリーツ仕様）

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

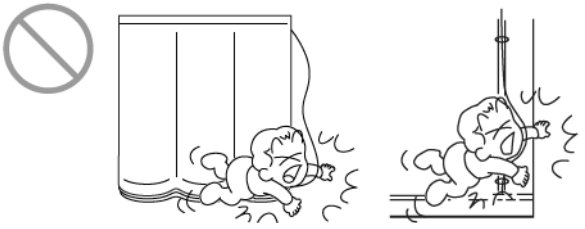
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	してはいけない禁止の行為です。
❗	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

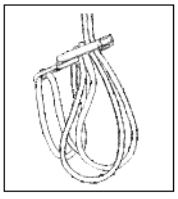
⚠ 警告

■お子様をチェーンや昇降コードで遊ばせないでください。チェーンや昇降コードが首に巻きつくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。

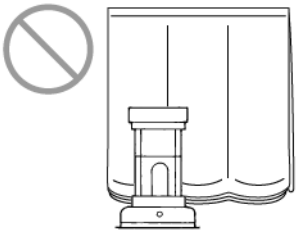


※コードクリップ（付属品）について

操作チェーンを危険のないようたくし上げる部品です。小さなお子様がいる場合など、手の届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。



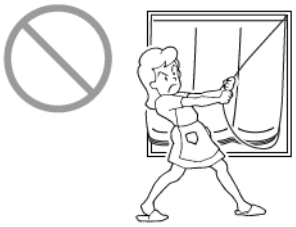
■火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

■製品にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりケガをすることがあります。



■風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながることがあります。

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損する場合があります。

お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

■製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

⚠ 注意

付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。

木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

使用環境上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

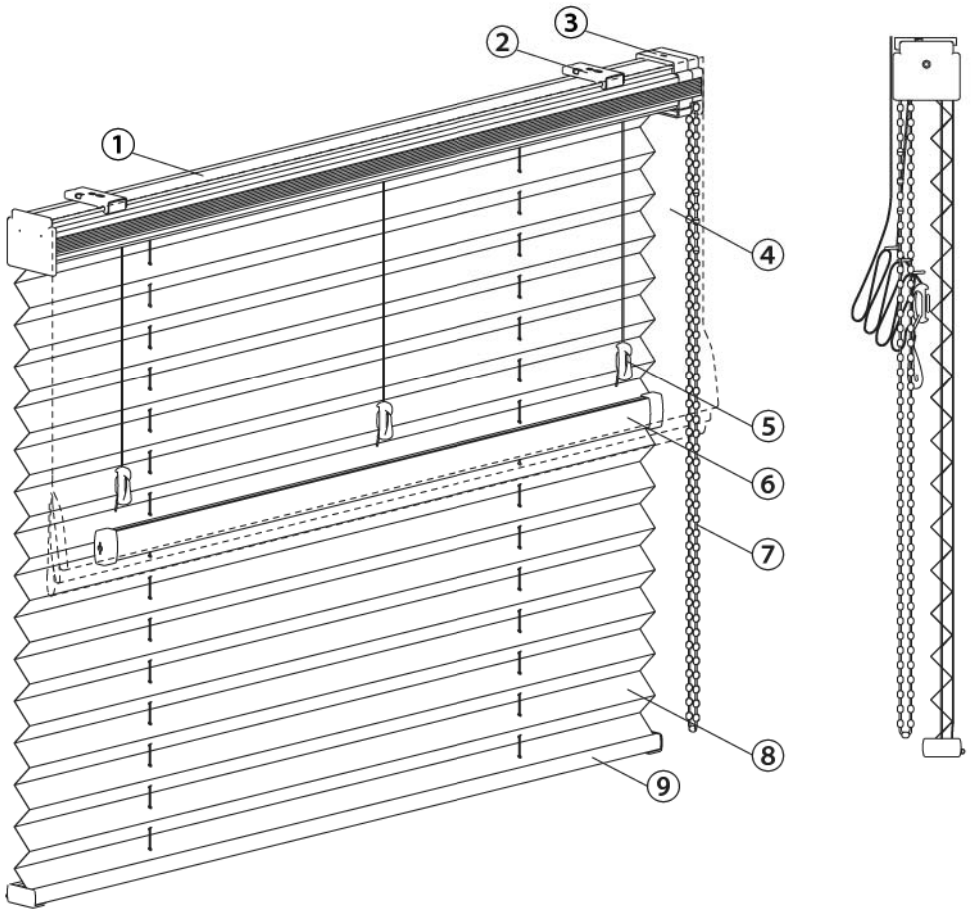
この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。

蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。

水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミなどが発生することがあります。

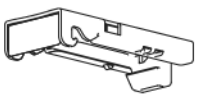
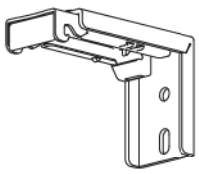
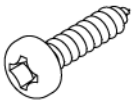
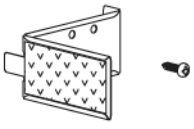
窓を開けての直射日光を生地に当てないでください。生地が極端に退色、変色することがあります。

各部の名称



①ヘッドボックス	④ローマンシェード生地	⑦操作チェーン
②ブラケット	⑤コードキャッチ	⑧プリーツスクリーン生地
③操作部	⑥ウエイトバー	⑨ボトムレール

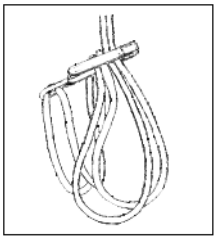
付属部品

部品名 / 製品幅(mm)	取付けブラケット		取付けブラケットビス	コードクリップ	リターン金具
	 天井付け用	 正面付け用			 ※
～1500	2 個	2 個	4 本	1 個	0～2セット
1510～2000	3 個	3 個	6 本		

※ご発注いただいた製品仕様によって、数は異なります。

※コードクリップについて

操作チェーンを危険のないようたくし上げる部品です。
小さなお子様がいる場合など、手の届かない位置までたくし上げられ、製品を安全にご使用いただけます。
詳しくは、コードクリップに添付している「コードクリップの使い方」をご確認ください。



製品の取付けかた

必要な工具　・プラスドライバー　・巻尺（スケール）

１）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付け出来ませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店・営業所までご連絡ください。

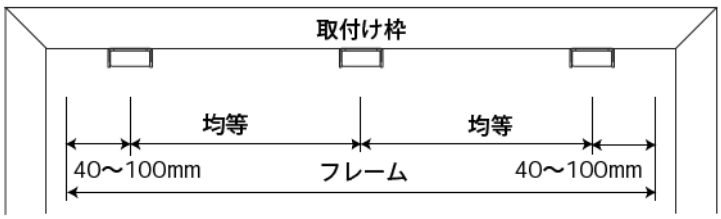
２）取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
・木部に取付ける時は、厚さが10㎜以上であることを確認してください。
・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。

３）取付けブラケットの位置

取付けブラケットは、フレームの左右の端からそれぞれ40～100㎜の間に取付けブラケットの中心がくるように位置を決めてください。取付けブラケットが３個以上の場合はブラケット間の距離が、均等かつ一直線上にくるように、また、正面付けの場合は、ブラケットの高さが揃うように位置を決めてください。

例）取付けブラケット3個の場合（正面から見た図）
※図は天井付けです。



※）取付けブラケットの位置はサインペン等で下地に印をつけておくと取付けが簡単です。

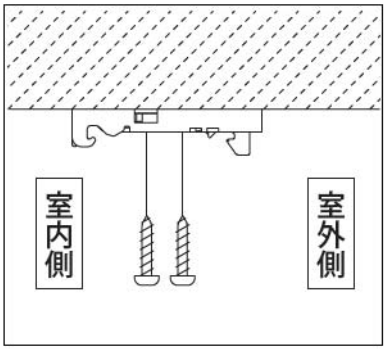
製品の取付けかた

4 ）取付けブラケットの取付け

●天井付け（窓枠内・カーテンボックスに取付ける場合）

①取付けブラケットを取付けビスでしっかりと固定してください。

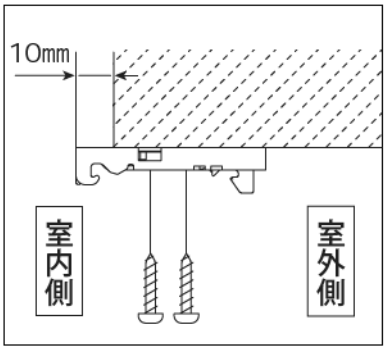
②取付けブラケットが確実に固定されていることを確認してください。



●天井付け（手前の生地で窓枠を覆う場合）

①取付けブラケットを室内側に10mm程度持出して、取付けビスでしっかりと固定してください。

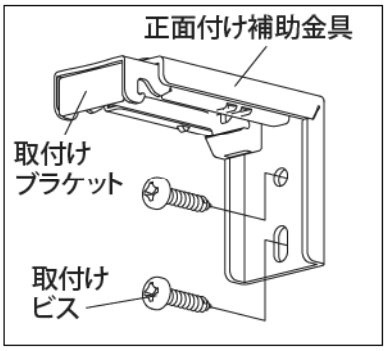
②取付けブラケットが確実に固定されていることを確認してください。



●正面付け

①取付けブラケットとL型の正面付け補助金具を組合せているネジがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいる場合はネジを締めつけてください。

②正面付け補助金具を取付けビスでしっかりと固定してください。



5 ）リターン金具（オプション部品）の取付け

※製品の仕様により同梱されている場合のみ、取付けが必要です。

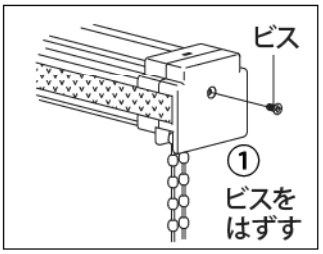
※取付け作業を行なう際に、リターン金具の端部でけがをしないようにご注意ください。

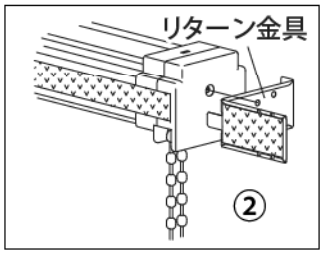
操作部側

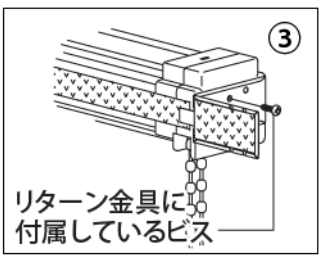
①操作部側面のビスを外し

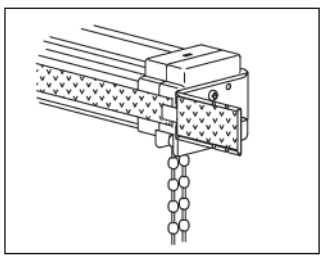
②リターン金具を図のように操作部側面に当て

③リターン金具に付属しているビスで固定します。







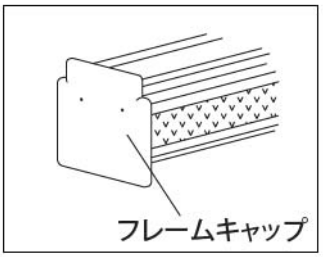


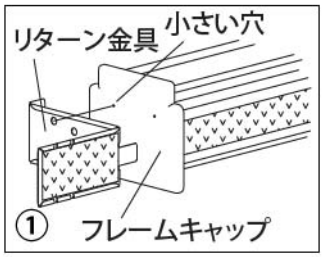
製品の取付けかた

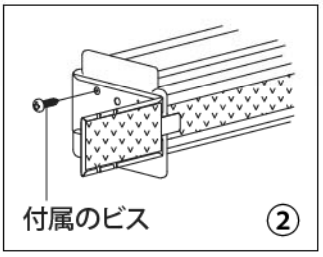
反操作部側

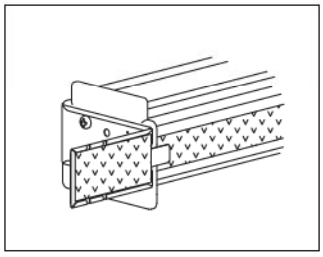
①フレームキャップの側面にリターン金具を図のように当て、

②フレームキャップの小さい穴に付属のビスで固定します。



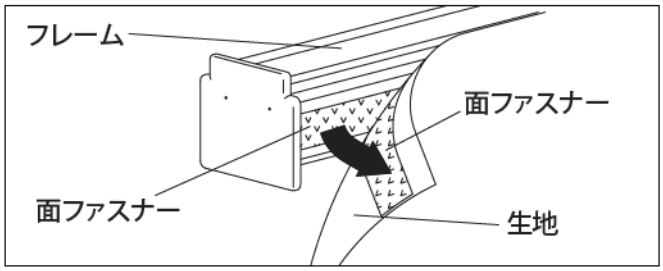






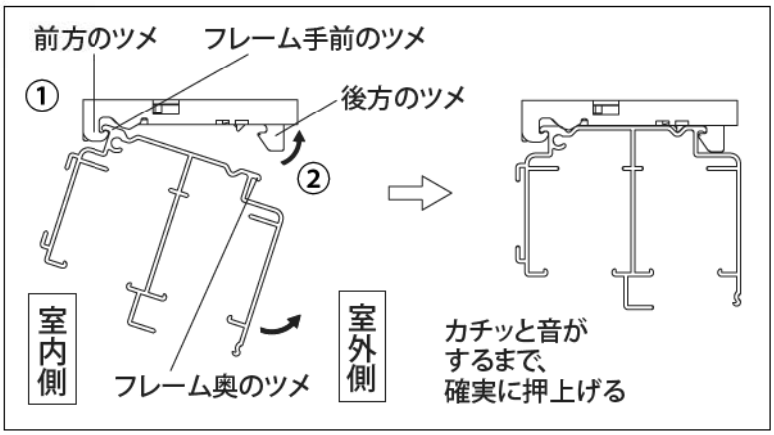
6）製品の取付け

①ローマンシェードおよびプリーツスクリーンともにたたみ上げた状態で、ローマンシェードの生地をフレームからはがしてください。



②製品を両手で持ち、取付けブラケットの前方のツメにフレームの手前のツメを引っ掛け、左右のバランスを見て位置を決めてください。

③取付け位置が決まったら、取付けブラケット奥側のツメが掛かるまでフレームの奥を押し上げてください。
※ツメがかかりますと「パチン」と音がなります。



④フレームが取付けブラケットに確実に固定されていることを確認してください。

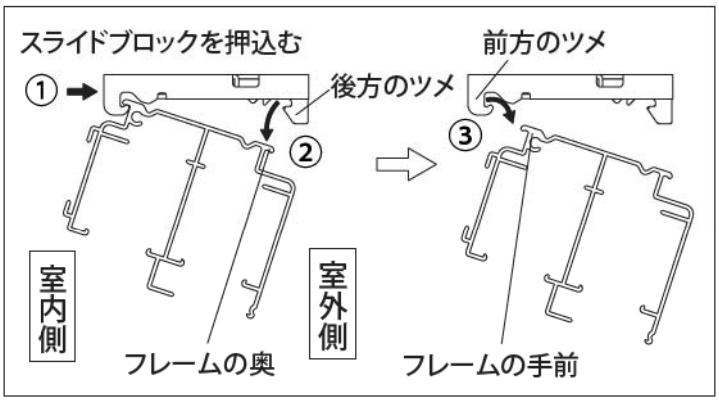
⑤最初にはがしたローマンシェードの生地を、元の通りにフレームに貼ってください。

⚠ 注意　製品本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを必ず確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

製品の取外しかた

①ローマンシェードおよびプリーツスクリーンともにたたみ上げた状態で、ローマンシェードの生地をフレームからはがしてください。

②フレームを手で支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを押します。スライドブロックを押すと、フレーム奥側のロックが解除され、前側のツメだけが引っ掛かった状態になります。



③フレームの奥側のロックが解除されたら、フレームを少し持ち上げるようにして、フレーム前側のツメを取付けブラケットの前側のツメから外してください。

> ⚠ 注意　製品が落下しないように製品全体を両手で支えながら作業をしてください。

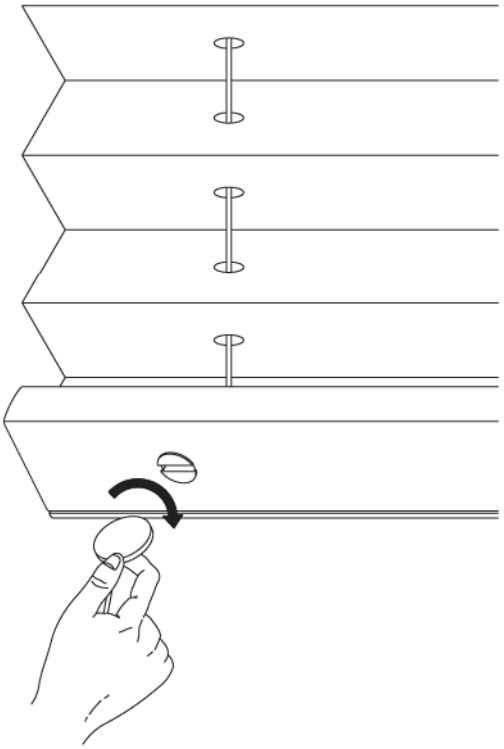
高さ調整機能（製品の高さを縮める方向に微調整する機能です）

プリーツスクリーン側には、窓枠にボトムレールが当たってしまう場合の対策など、製品の高さを短く微調整したいときに便利な高さ調整機能が装備されています。

（用意するもの）　コイン・硬貨

●ボトムレール下面のダイヤルにコインを差し込み、右に回転させると製品高さを縮められます。全てのダイヤルを同量回転させてください。
調整範囲：ダイヤル半回転（180度）まで
約15mm短くなります

※万が一縮めすぎた場合は、回した方向と逆にダイヤルを同じだけ回し、昇降コードを手で引っぱると元の長さに戻すことができますので、再度調整をしてください。



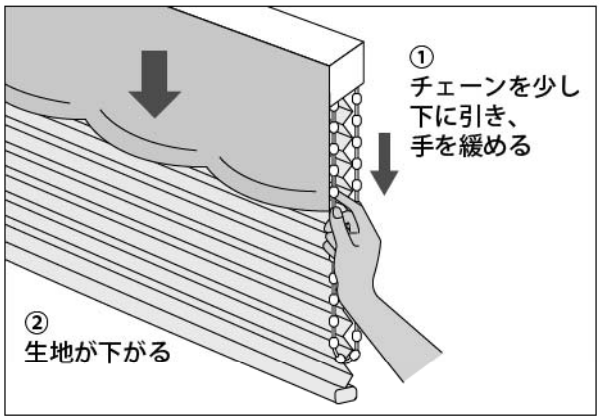
操作のしかた

ローマンシェード生地の昇降

●生地を降ろすとき

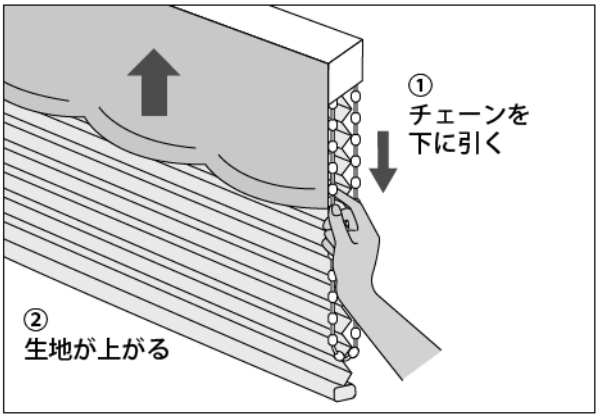
手前側（室内側）の操作チェーンを少し下に引き、手を緩めると生地がゆっくり下がります。

途中で止めたい場合は、再び手前側（室内側）の操作チェーンを少し下に引き、手を放すとその位置で生地が止まります。



●生地を上げるとき

手前側（室内側）の操作チェーンを下に引き続けると生地が上がります。手を放すとその位置で生地が止まります。



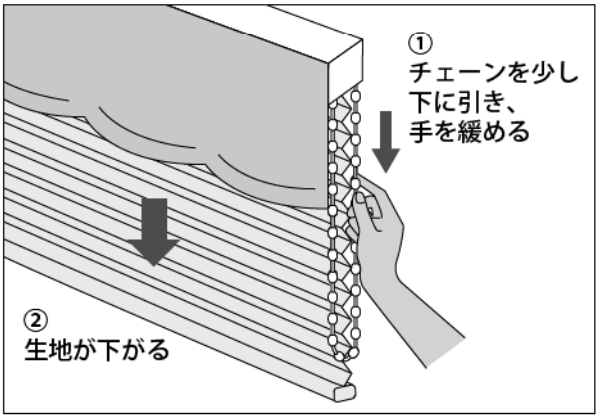
プリーツスクリーン生地の昇降

●生地を降ろすとき

奥側（室外側）の操作チェーンを少し下に引き、手を緩めると生地がゆっくり下がります。

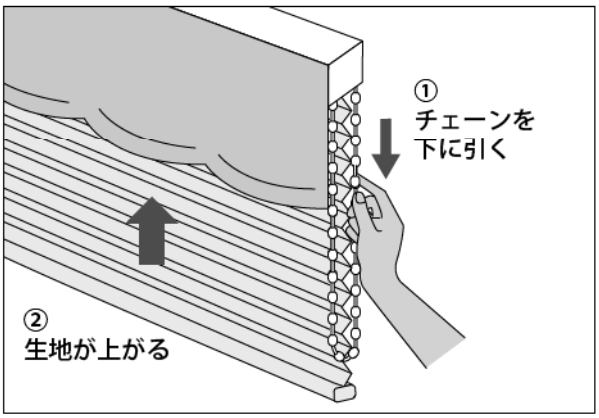
途中で止めたい場合は、再び奥側（室外側）の操作チェーンを少し下に引き、手を放すとその位置で生地が止まります。

※プリーツスクリーン側には障害物停止装置が装備されています。生地を降ろしている途中で、ボトムレールにもの（障害物）があたるとその位置で製品は止まります。一度生地を上げて、製品の下にあるもの（障害物）を取り除いてから、もう一度操作してください。



●生地を上げるとき

奥側（室外側）の操作チェーンを下に引き続けると生地が上がります。手を放すとその位置で生地が止まります。

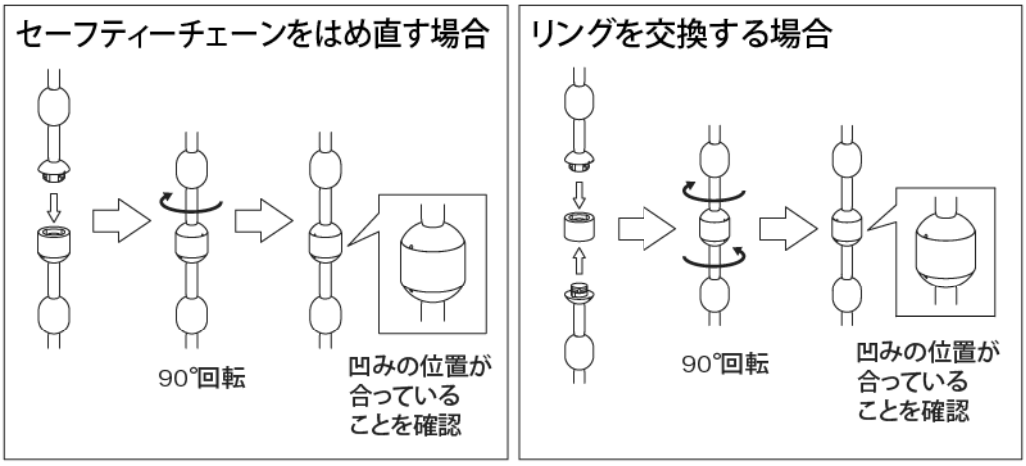


操作のしかた

⚠ 注意

通常操作以上の過負荷（生地が上がりきっている状態でさらに操作チェーンを引き続けた場合など）がかかると、製品を保護するため、操作チェーンが空回りする装置が組み込まれています。故意に引っ張ると故障の原因となります。

※操作チェーンには、製品を安全で快適にご使用いただくために「セーフティーチェーン」を組み込んでいます。これは、操作チェーンに通常操作以上の負荷がかかった場合などにその操作チェーンを分割させる仕組みの部品です。操作中に外れてしまった場合、はめ直してご使用いただけますが、分割しやすくなる場合がありますので、リングを交換する必要があります。お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

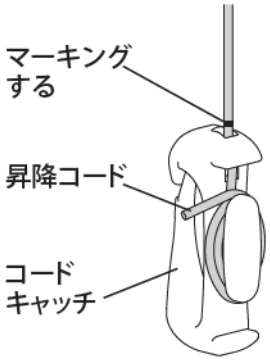


生地の取外しかた

ローマンシェードは、生地の洗濯やクリーニングをするためにフレームより生地を外すことができます。

＜注意事項＞

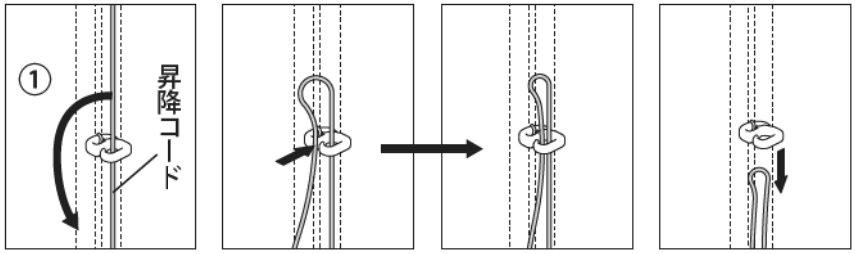
- 製品の寸法／タイプによって、昇降コードの通しかた、生地に付属する部品が異なります。生地を再度取付ける場合に備え、取外し前の状態を確認してから、生地の取外しを行ってください。
- 生地を洗濯する場合は、生地裏面にある取扱い表示ラベルにしたがってください。
- 生地に縫製されているリングテープへのアイロンがけはしないでください。リングテープが縮み、テープ部にしわが発生します。



①必ず生地をすべて下まで降ろしてください。
②生地を取付ける際の長さ調整の目安となるよう、昇降コードのコードキャッチ上部にサインペン等でマーキングしてください。
③以降、スタイルごとに取外しかたが異なりますので、スタイルごとの取外しかたを参照のうえ生地をフレームより外してください。

【フラットスタイル】の場合

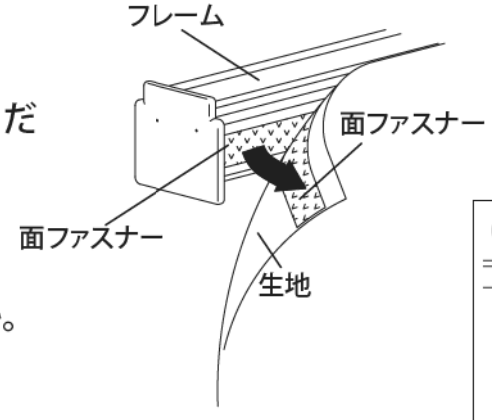
①リングの上側または下側の昇降コードをリング横へ取り回し、リングの脇から昇降コードを差込み、昇降コードを抜き取ってください。

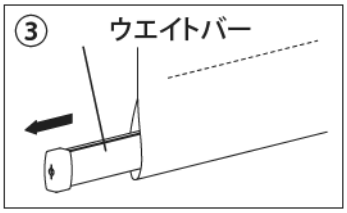


②生地裏面下部のコードキャッチのツメを横にずらして外し、コードキャッチをリングより取外してください。

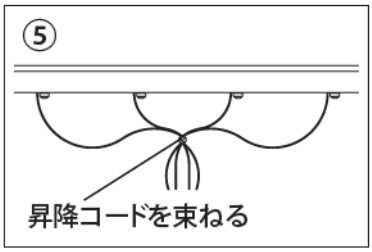
③生地下端の脇から、ウエイトバーを抜いてください。

④生地をフレームから外してください。





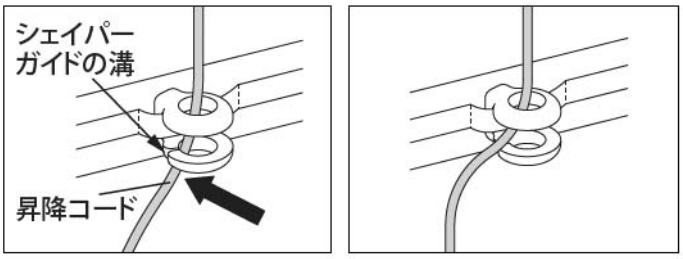
⑤昇降コードを束ねてください。



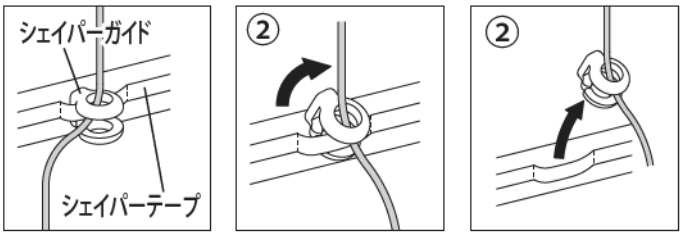
生地の取外しかた

【シェイパースタイル】の場合

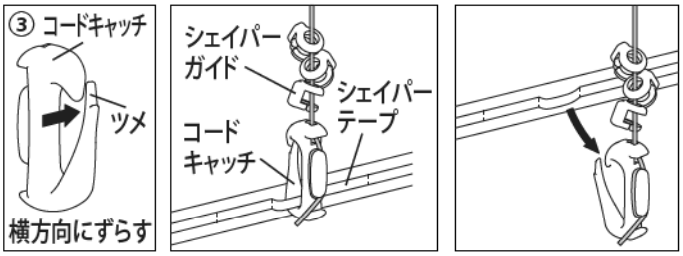
①シェイパーガイドの溝から昇降コードを抜きます。



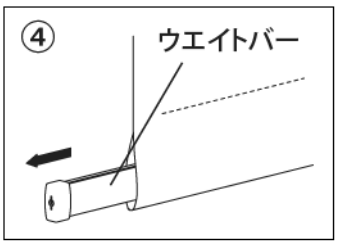
②シェイパーガイドをシェイパーテープより取外します。
すべて取外すと、コードガイドが下にたまります。



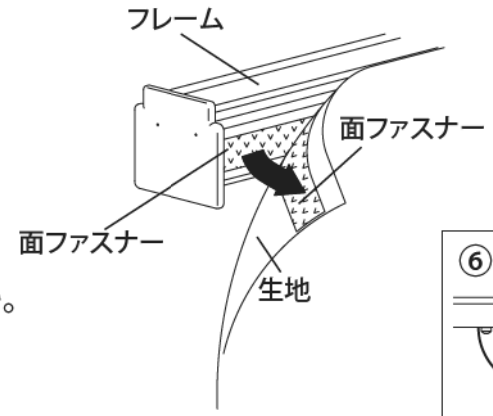
③生地裏面下部のコードキャッチのツメを横にずらして外し、コードキャッチをシェイパーテープから取外してください。リングより取外してください。



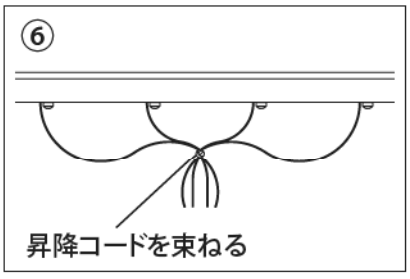
④生地下端の脇から、ウエイトバーを抜いてください。



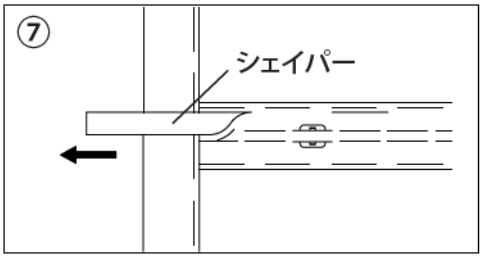
⑤生地をフレームから外してください。



⑥昇降コードを束ねてください。



⑦生地についているシェイパーをシェイパーテープより抜き取ってください。



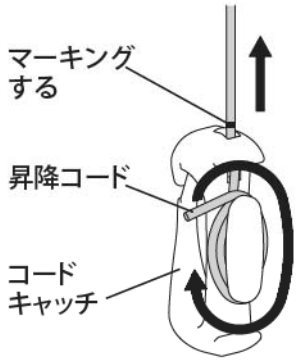
生地の取外しかた

【全スタイル共通】

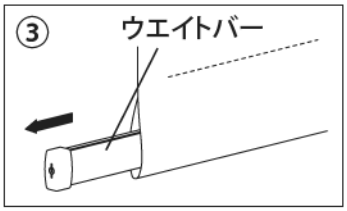
※以下の方法でも生地を取外すことができます。

①生地を取付ける際の長さ調整の目安となるよう、昇降コードのコードキャッチ上部にサインペン等でマーキングしてください。

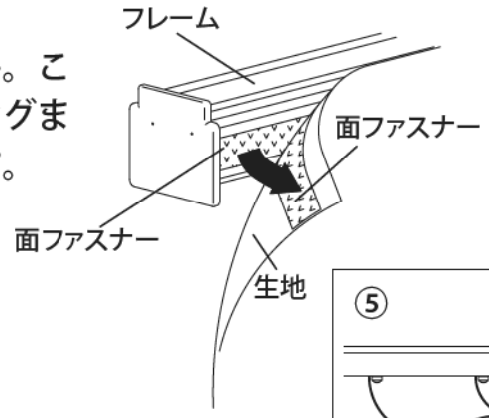
②コードキャッチに巻きつけてある昇降コードを外し、コードキャッチから昇降コードを抜き取ってください。



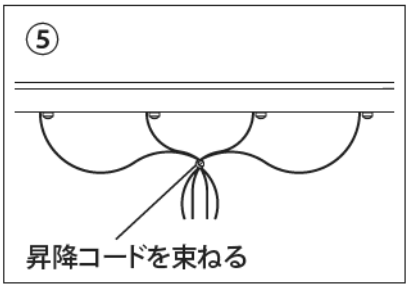
③生地下端の脇から、ウエイトバーを抜いてください。



④生地をフレームから外してください。このとき、同時に昇降コードを各リングまたはコードガイドから抜き取ります。



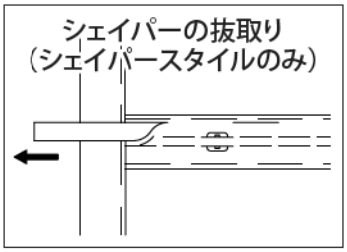
⑤昇降コードを束ねてください。

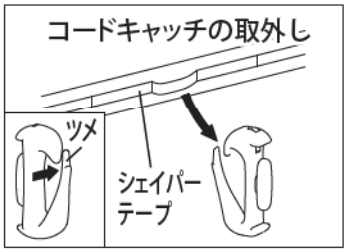


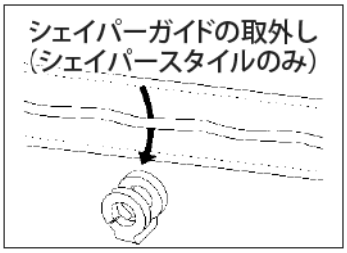
⑥生地についている部品を取外してください。

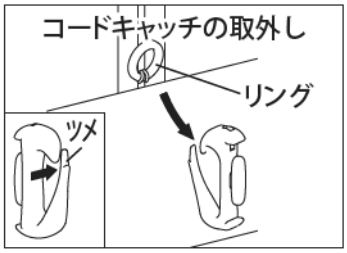
※コードキャッチを取外す際は、ツメを横にずらして外し、コードキャッチをシェイパーテープ、またはリングから取外してください。

※フラットスタイル裏面のリングは取外す必要はありません。



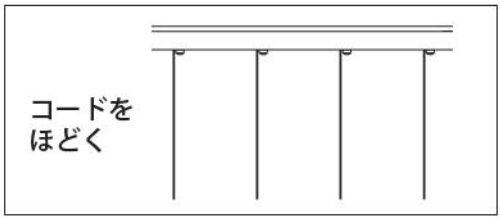


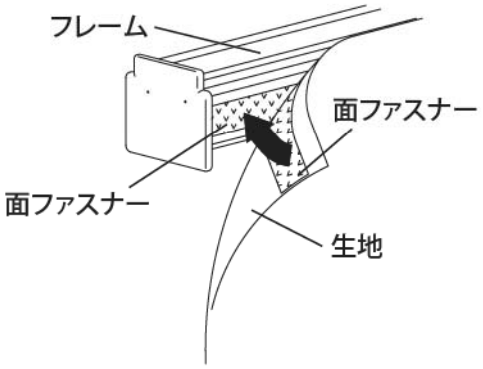




生地の取付けかた

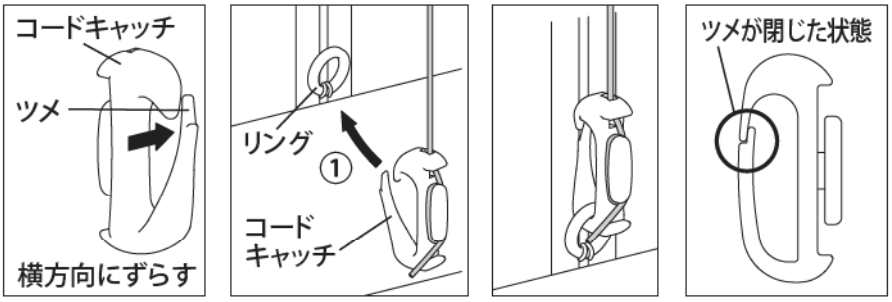
①生地を取外す際に束ねていた昇降コードを、抜けないように注意しながらほどき、図のような状態にしてください。
②生地に組込まれていた部品を元通りに生地に組込み、ウエイトバーを挿入してください。
③生地上部の面ファスナーをフレームの面ファスナー部に重ね、貼り合わせてください。
④以降、昇降コードを通す作業となりますが、スタイルごとに方法が異なりますので、スタイルごとの取付けかたを参照のうえ昇降コードを通してください。



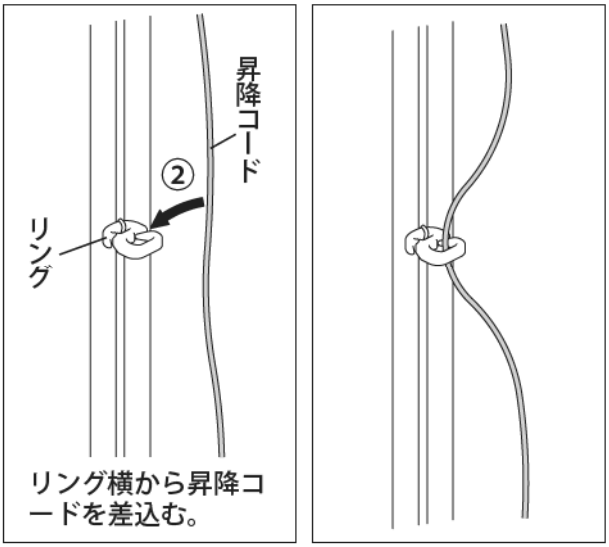


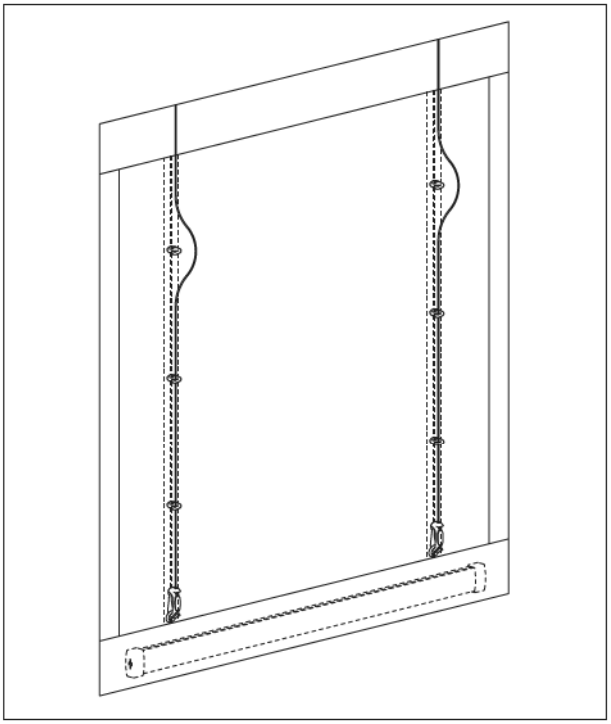
【フラットスタイル】の場合 ※11ページの【フラットスタイル】の場合の手順で外した場合。

①コードキャッチを生地裏面最下部のリングに取付け、ツメを閉じてください。



②昇降コードをリング横から差し込んでください。



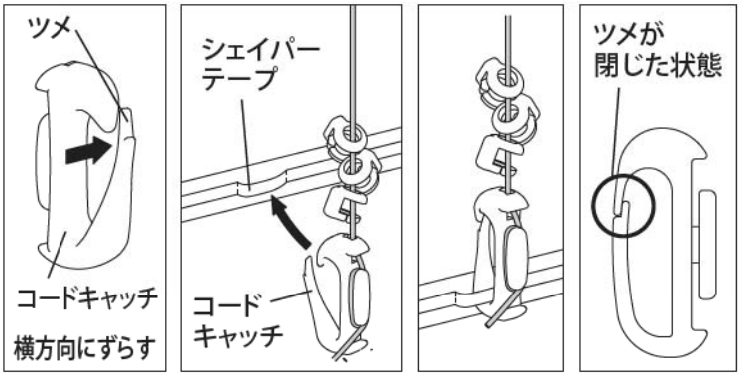


③2〜3回昇降テストを行ってください。片上がり（生地がななめに上がる）が起こった場合は、コードキャッチのところで昇降コードの長さを調整してください。

生地の取付けかた

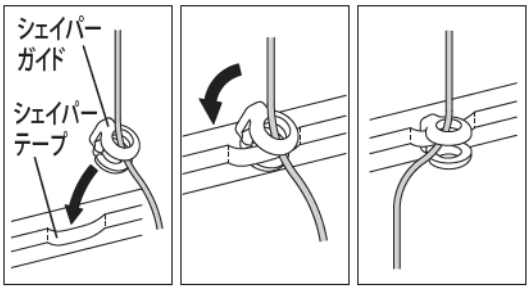
【シェイパースタイル】の場合 ※12ページの【シェイパースタイル】の場合の手順で外した場合。

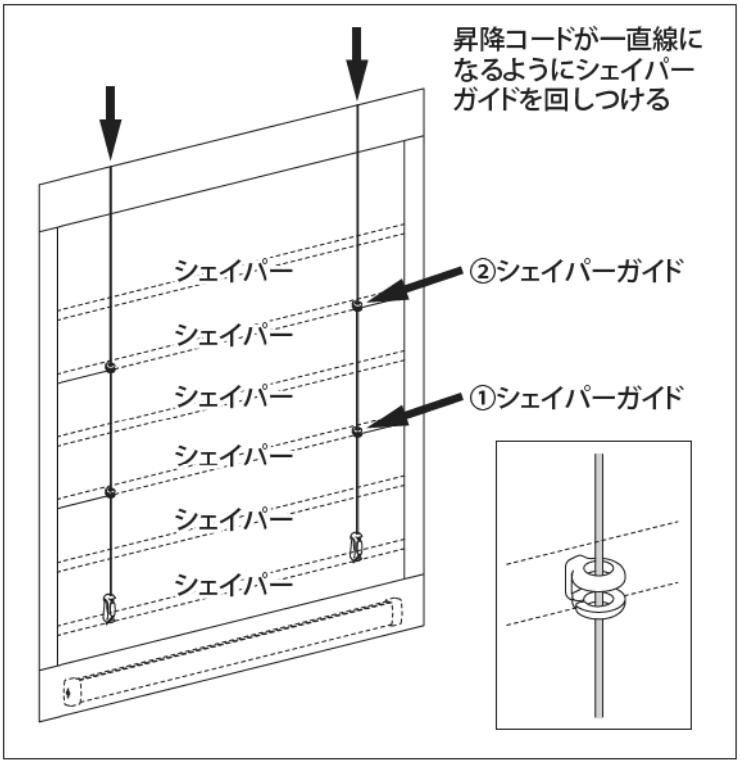
①コードキャッチを生地裏面最下部のシェイパーテープに取付け、ツメを閉じてください。



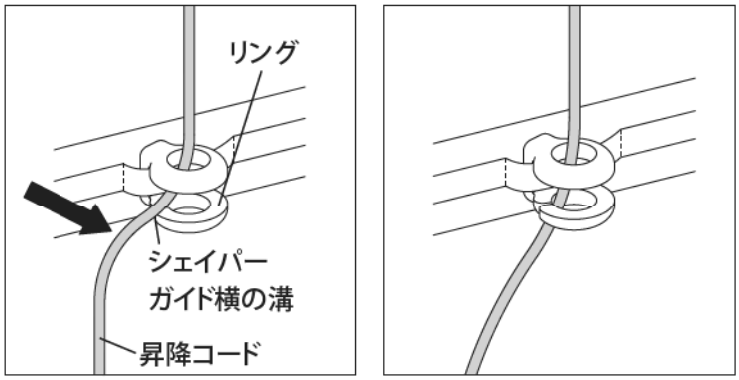
②シェイパーガイドを右図のように昇降コードが一直線になるように、シェイパーテープに取付けます。

※シェイパーガイドは元通りの位置に組込んでください。シェイパーガイドを組込む位置は、最下部から数えて３つ目のシェイパーテープに通し、それより上はひとつずつ飛ばして取付けます。





③シェイパーガイドの溝から、昇降コードを差し込んでください。

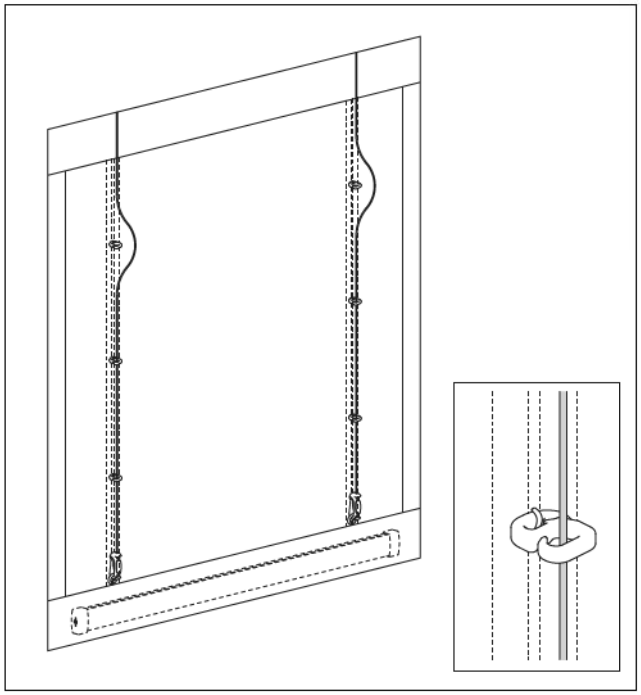


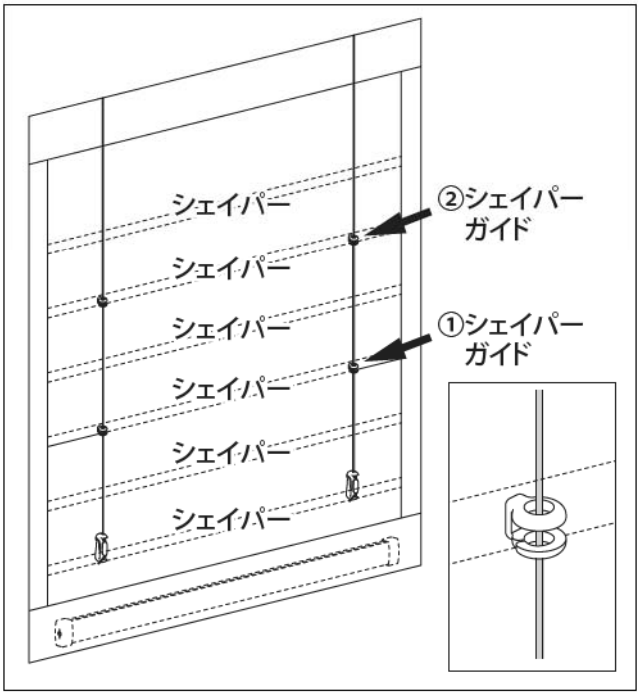
④2～3回昇降テストを行ってください。片上がり（生地がななめに上がる）が起こった場合は、コードキャッチのところで昇降コードの長さを調整してください。

生地の取付けかた

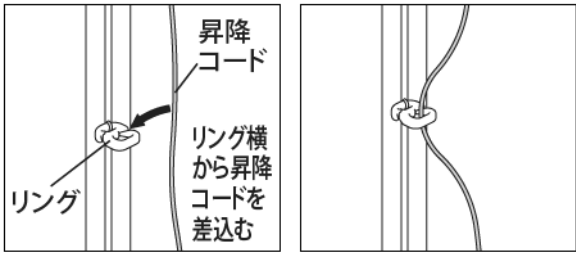
【全スタイル共通】※13ページの【全スタイル共通】の手順で外した場合。

①生地裏面のリングまたはシェイパーガイドに昇降コードを通してください。



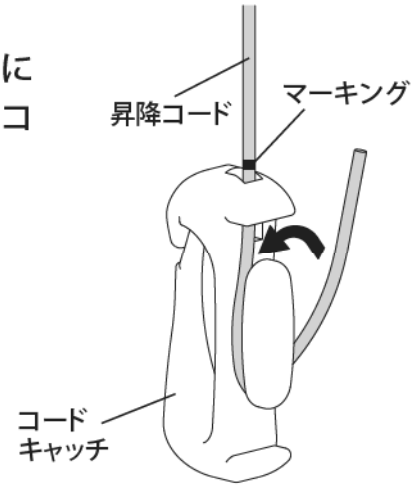


※フラットスタイルで、リングへ昇降コードを通し忘れた場合は、リング横から昇降コードを差し込んでください。



※シェイパーガイドは元通りの位置に組込んでください。
シェイパーガイドを組込む位置は、最下部から数えて3つ目のシェイパーテープに通し、それより上はひとつずつ飛ばして取付けます。

②コードキャッチの穴に昇降コードを通し、生地を外す際に付けたマーキングをコードキャッチ上端に合わせ、昇降コードをコードキャッチに巻付け固定してください。



③2～3回昇降テストを行ってください。片上がり（生地がななめに上がる）が起こった場合は、コードキャッチのところで昇降コードの長さを調整してください。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等でほこりを取り払ってください。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。

●ローマンシェードの生地を洗濯する場合は取扱い表示ラベルに従って取扱ってください。

●アイロンがけをする場合は、生地に縫製されているリングテープへのアイロンがけはしないでください。リングテープが縮み、テープ部にしわが発生します。

こんなときは

	症　状	原　因	処　置
ローマンシェード	生地が斜めに上がってしまう	・昇降コード長さが正しく調整されていない。 ・取付け面が水平でない。	・生地背面下部のコードキャッチのところで昇降コードの長さを調整してください。 ・フレームが水平になるように取付け面を調整してください。
プリーツスクリーン	製品が途中で止まってしまう	・ボトムレールにもの（障害物）が当たっている。	・製品の下のもの（障害物）を取り除いてから、もう一度操作してください。
	生地が下まで降りてこない	・生地のバネ性が強い。	・製品を一番下まで降ろした状態で、手でボトムレールを引っぱってください。
全般	ストッパーが効かない	・操作部内でストッパー異常が生じている	・お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	製品が落ちた	・取付けビスが抜けた。 ・製品がブラケットに確実に固定されていなかった。	・取付け下地の種類に応じた取付け方で取付けてください。お買上いただいた販売店にご相談ください。 ・取付けブラケットを交換してください。 ・この取付説明書にしたがって取付けし直してください。

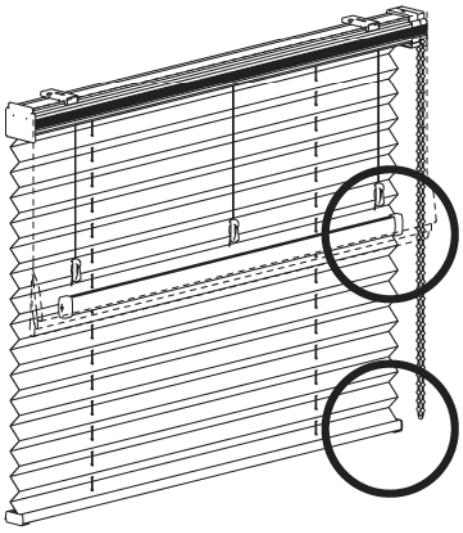
お手入れのしかた

おことわり
生地の一部に縫製加工時のマーキング(チャコ：紫)が残っている場合があります。この色は数日程で消えますが、気になる場合は水を含ませた柔らかい布で軽くふいて消してください。
＜マーキングの消しかた＞
①柔らかい布に水を含ませ軽くしぼります。
②マーキングが残っている部分に布を軽く押し当てるよう濡らします。
　※綿などの縮みやすい素材は濡らしすぎないようご注意ください。
③自然乾燥させてください。

メンテナンスシールのみかた

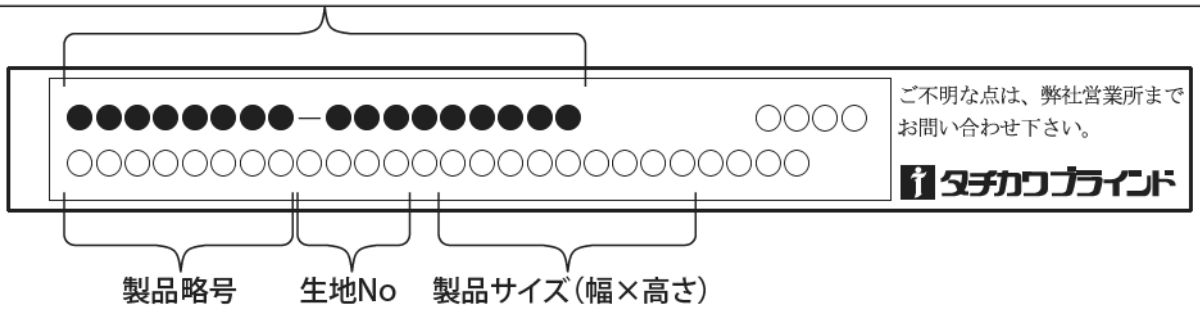
製品にはその製品の生地№、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けております。修理や部品交換等のお問い合わせ際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問い合わせの前に、あらかじめご確認ください。

【メンテナンスシール貼付場所】



製品正面から見て
ウエイトバーの右端に貼付

【メンテナンスシール記載内容】
お問い合わせの場合は、この●部18桁（「ー」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より３年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「生地部」、「コード類」につきましては、無償修理期間をご購入日より1年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。
※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買い上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

R70 PRINTED WITH SOY INK
この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率70%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。

2012.06
943413